2023 年度　日中友好協会岡山支部総会

真田紀子

標記の会が、2023 年 7 月 30 日（日）に岡輝公民館で開催されました。

当日の参加者は 10 人でした。受け付けは井堀ご夫妻が担当しました。

定刻通り 10 時に開会され、司会は竹内理事が担当しました。開会のあいさつは支部長である私が行い、続いて来賓あいさつを岡山県支部連合会事務局長の犬飼さんが行いました。

日本国民救援会岡山県本部の会長花田雅行さん名義のメッセージが届いていましたので、代読しました。

参加者の皆さんに簡単な自己紹介をお願いしました。

日中岡山県支部連合会の結成総会から 1 年が経ち、理事会も 2 か月に 1 度のペースで行っていますが、理事長であった小林軍治さんの後をどうするのかが未だに決まりません。

議案の討議は、議案通り進みましたが、小林軍治さんをしのぶ会の報告で、私からしのぶ会の残金を 7 月 22 日に愛子夫人にお渡ししたこと、愛子夫人がすぐに福岡県連に連絡を取り、「九州中国帰国者二世連絡会」に 4 万円を寄付されたこと、ついで介護施設「いほり」に 3 万円を寄付されたことを報告しました。「いほり」の井堀風才さんが“大変ありがたい、大切に使わせていただきます”と話されました。

太極拳の活動では、今までの講習会を A とし、新しい講習会を B とした議案になっていましたが、新しい講習会の担当である小川理事が体調不良で参加できなかったことが残念でした。

中国百科検定のとりくみでは、第 13 回中国百科検定 7 月 15 日開催について、岡山から2人が米子会場で受験したことを、百科検定ニュースが紹介していました。

帰国者との交流及び自立支援のための活動で、毎年市役所ロビーで行う「中国帰国者問題写真と資料展」を今年は“小林軍治への追悼文”をメインに企画したこと、日本語教室の皆さんが小林さんにあてて感謝の言葉を書いてくれたことなどを報告しました。

小規模多機能ホームいほりの現状を、井堀風才さんが報告してくれました。

報告の後、太極拳の表演を青木さんと岡田さんが“24 式”で披露してくださいました。見事な表演に皆さんカメラのシャッターを押していました。

その後、2022 年度の決算報告を行いましたが、ここで質問が多数出され、県連との資金の流れをうまく分けられていなくて、今後の課題となりました。県連が誕生してから初めての決算ですので、支部との資金の分担割合など、問題点が多く指摘されました。

時間が足りなくなり、2023 年度の理事の紹介もできませんでしたが、参加者のほとんどが理事ですので、ここで私から「新しい理事を迎えることができるように、皆さんのお力添えをお願いします」と伝えました。

日中
おかやま
題字 故 原田 親
No. 1003
2023/8/15
日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
日中友好協会
岡山支部
日中友好協会
倉敷支部

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.iinaa.net/
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp

倉敷 9 条の会の会員である朝倉彰子さんが倉敷 9 条の会の会報に「私の引き揚げ体験」という文章を寄稿されました。それを読んだ犬飼が是非日中友好協会の会員の皆さんにも読んでいただきたいと思い、本人の許可を得てここに掲載させていただきます。

私の引揚体験（その1）

倉敷9条の会　会員　　朝倉　彰子

皆さんは浅草、浅草寺に行かれたことがありますか？

浅草寺境内の一角にその像、満州母子地蔵があります。漫画家のちばてつやさんたちが建立したもので、母子地蔵の傍らには建立由来の碑があり、そこにはこう記してあります。

母子地蔵建立の由来

第 2 次世界大戦末期、ソ連軍参戦で混乱状態となった中国東北部（満州）で逃避行の末、命を落とした日本人の数は 20 万人を超えると云われています。

酷寒の荒野を逃げ惑い、母子が生き別れとなったり、飢えや疫病に苦しみながら亡くなるなど、その悲劇は数知れません。

犠牲となった母子の霊を慰め、まだいまだに再会のかなわない親子の心のよりどころとして、二度と戦争という過ちを繰り返さないことを祈念し、ここに母子地蔵を建立しました。

1997 年 4 月 12 日

願主　　千野　誠治
デザイン　ちば　てつや
文字　　森田　拳次

まんしゅう地蔵建立委員会
まんしゅう地蔵建立応援団
中国残留孤児援護基金

ちばさん、森田さんは1946年中国東北部（旧満州）の瀋陽から引き揚げてきました。そして同じ1946年夏、5歳の私は中国東北部（旧満州）撫順から母と私を含め 7 人の兄弟姉妹と引き揚げてきました。

1. 特高がきた

昭和17年（1942 年）9月、京都府警の特高係長が8人の警官を率いて大阪の私の家を急襲しました。

夕刻父が帰宅し風呂に入った途端、警官が踏み込んできて、私たち家族の目の前で父を連れ去っていきました。治安維持法違反に問われてのことでした。私はそのとき1歳7ヶ月。10歳年上の兄は、布施駅まで父の後を追って行ったといいます。

父は検挙されたその夜、一晩中拷問され、警察に6ヶ月、送検されて4ヶ月、検事拘留の上、10 か月後に釈放されました。

父は昭和6年（1931 年）満州事変勃発のときは警察署で留置、昭和12年（1937 年）支那事変（日中戦争）勃発のときは検事拘留で警察署に、そして昭和16年（1941 年）12月太平洋戦争が勃発して7カ月後に、京都府警により検挙されたのです。戦争に反対する者を徹底的に弾圧し天皇制政府は戦争を推し進めていきました。

1943 年秋、母方の祖母の勧めで、治安維持法の弾圧から逃れるため、私たち一家は中国東北部（旧満州）撫順市へ渡ったのです。

2. 治安維持法の弾圧から逃れて

その旅には、祖母も一緒でした。船に乗る前、祖母が急に腹痛を起こし、次の船で満州に渡りました。乗る予定だった船は、攻撃されて海に沈み、祖母の腹痛のおかげで、私たちは死なずにすみました。

母の弟である多聞叔父は奉天（現在の瀋陽）や撫順で建設会社や石鹸工場、また牧場などを手広く経営していました。父は奉天にある石鹸工場で働くことになりました。

ただここでも父は監視の対象となっていたそうです。

私たちは撫順市東七条の小さな借家に住むことになりました。私はこの家での記憶はほとんどありません。間もなく私たちは市郊外の南満達屋にある千金牧場に移りました。

次回の新聞発送作業は**8月30日(水)午前10時半から**民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

井田
内
河
竹

今後の予定

8 月 11 日(金)　日中平和友好条約締結 45 周年慶祝大会　第 1 部 13:00～16:00
岡山国際交流センター2 階　第 2 部 17:00～19:00
8 月 20 日(日)　日中友好協会岡山支部理事会　10:00～12:00　岡輝公民館
8 月 25 日(金)　日中友好協会倉敷支部理事会　13:30～16:00　倉敷公民館
9 月 12 日(火)　日中友好協会井笠支部準備会　14:00～16:00　出部公民館
10 月 8 日(日)　日中友好協会岡山県支部連合会総会　10:00～12:00　岡西公民館